

## 品質確認法など拡充

### アルミ配管設備工業会

配管メーカーや設備工事会社などで構成するアルミ配管設備工業会（坂吉肇理事長）は6月28日、東京都大田区のラズ大森で社員総会を開いた。1月の設立以降の事業活動を報告したほか、新任理事に植村聡三機工業建築設備開発部長を選任した。

冒頭、坂吉理事長があいさつし「協会運営を通じ、



アルミ配管の普及に必要な規格の整理や品質の確認法、認証制度などの拡充を図りたい。今後皆さまの知見を持ち寄ってもらい、普及、拡大に努めたい」と述べた。写真。

同工業会は、アルミ配管の普及・拡大を目的に設立。会員は▽アルミニック▽きんでん▽三機工業▽星朋商工▽高砂熱学工業▽千代田

産業▽ハマイ▽東尾メック▽ベンカン▽ヤマト▽かんき▽ニツカル商工の12社で、現在も複数の会社が入会を希望しているという。アルミ配管は、重量が銅管の3分の1と軽く、作業者への負担が少ない。コストも銅の3分の1ほどと経済的で、多くの設備工事会社が現場での採用を始めている。

